唐詩訳

へ13
2132
42

42
特3
2132
42
117

山津

序

序

序

[illegible]

[illegible]

[illegible]

元つゝ仰者

化あり引ゆ　和ハッ付すき　かく

うゆやれおとくね
ゆ[illegible]の
はてゆ[illegible]ゆ

青楼實記大門雛形一對

傾城傾國ゆとゞ[illegible]
かゝのひゝ[illegible]
[illegible]ゆとゞあゝ

○[illegible]
何[illegible]の
[illegible]ぬ

ゝゝうゝ妙程ゝ
[illegible]ゝ峰乃雪

房情の品目

第一情　總まぐれは已惚客
第二情　半まぐれの苦肉は與情
第三情　まぐれの中は真情結
通計全情三種稿

不粋照明房情記

○行水のうぶ毛くの里。もむとは名の通江のよどむうたくきゆるのもむとぶもおぼされのそのこまなやくそくとさとうなびうねびもなくいたまざもたえてこの芸あるまぐれとおのもふまようふぶれ情のくせ。あとされきらぬむめんゆくかたで風きるもらうぷれふ人もおわるる

ゆてもきってみる 客 年の頃廿七、
うをあそこまわり五分ものとうぬとい
ふひもちいろゆるんらはう女ちい
とゝでるくゝちやゝ といろゝでもてまへ
たちるのうちをもとてのうちく二三ケ月まえのうのるゝどこん
そうだいゆくゝとゝどよきところゆかしとろうまとくわる
廿四五どうわりとうくもうもてきまたちなるとうく おまさいの
かりたくのところうまどうかうふとろいふ大ぎんるゝどこととなうかふども
ひたうけてきうげえ勢まえのくらうもなくかこのえもきうまぜたなどくいふ
いさまをとこのうちゆてもの一二の女えどうひいそのの大じんまうゝどたか
まんどうのどく えんむんろうぜたとうてひぎをいくのどうもなくたいと
げいくのかゝをつくくて目もあやなう又かのいろおとときどうのまゝ
のめまゝどうふをうだいべやふうゝくまろ系やのむととさくむろひゆて
せたむどくたるけーたりとうげいくやるゝどをとうだねをゝ男おゝくて
とうゝえゆまえかうてのうまをうんもいうたいせうゝとうかとるとちうう
あいゝうもとのとうをとうく きうてかうろいうきゆくあつゝのふくも

ゝ年のころ向ゆて

アイカ ノろ
どこいう

きゆ 洗のだうをさをを
とうゆてようぶるるべ〜 そうぶつ きたてそ
さうぐ きくゝってゝいうそきのゝゝせゝぶてるるゝイ せん。
ヨヤさて さん嫁やのむをとでくぶまゝぶやだよりくとんやうあい
ゆくでいうそおきあのどくざんをチ ゆだうきれゝたくゝて
く〜ト さとーかれをまちあうあひうノきんきけどんかさうう
だーたやうかふでおかふるう
まうしィ きやこがどうぞさうなまゝがいゝがチ 客 なのふゝが
ヤー ゆでもサ 客 ウざゝ えのとうナアニそうやうるんきも
ゝくとうとうこ〜ゝどうでもようサ ヤー おあうがうおを。

おきてるのん」あのさうぐ〜しいことをモウだらしいのうり
圖アゆうゆうるの客う圖さうざいまるを圖たをもく〜
だらうたんのうをるるどさうぐだらうたいことちの
うしろくをるぞぐをうをー〜がうて居るうちぐをるぐ
のうをく公圖ゆみおとくおとどもるんかさうざいまるをョ圖をれ
だぐあんるる客でるのけをぐおをぐどうでをたアいれをれうら
おらいぐんるの甘人圖おうをんぐるるアかをくせをけいうちやア
ちんうるおよう甘人あうません。そーてきいておくんるのん」。

ふもやくそくのさうぐれおくきたらいこいうをるいかんア
アるうをうをるをれをうり　ものこをれをかかんア
小ぐんをあぐうんををあり　をうてきををりしなりるをもをのアへ
ゆをえ女をのもかくぐうあうをべー圖我道ろうるおくおうるんへちを圖ゆ
だるをとけくきをていひるるナ。客人ぐたぐ行るんをるう今
ねだう圖ねをうのおくをさんとをるを」をををおをとと
さういひるん」ぷりへあうちの客人いうでをハッゆい
かくアイをうらまうアねをくおるんるのん」ラヤ人ぐ行ョトをたきを
ゆうぐ行ぐをとあるをよたうをいのをいらうををるる女ひとをいへやうちう圖ニうきとモシュ結おをるんーた子

客ヲヤ二ヲざとさんろうアおんまろるせん　さと　こうアまと
おせまるしょいんそきろうろでおんりせろう子　客　かん　ちの
ことびまるおもろく　ゆんせんりさ　さと　アノ　ろろさんと
わるぜつまとろうしてきておろんなんせんへおろうを
ざんまとよ　客　ろろんろんどろろく　速　の　金人形
といひやたッけとんどろぜひいろまよみきろせう
さと　アノ　ろろさんへおそとろくおろろうんをそうだ子
くろとろくおろたろんをしょ　客　さろうさろう　ゆんとろくころ

おわくアノ山百ろちかんざろうんほけてあるのとったふろ
一ケろくこまで　くま　のでろあんまろまったた　さと　あれ
カ人　あろ中アこのぢっチ大きる坊さんといろ　ぢ　よ　お出
るんまたた附　ろろさんよあげアイまろよ　トまたの西ら　ゆ　絵
ろるおろとろろるまぞのまとろ　ためまてまろるたのりくまゆるれい
ひとろう　客　いまろでたてひざ　て　アイ　客　ろんのとでおまま
おろをきろうよるのと　客　モシおろうんいんとをきまとんだ子　客　アしサ又おろのぎん
なんまよ　客　のう　徳　ろ　逢　ろ　ごんとまるよのう　客　ろれ

さて園いやでうん客又そんなことをいうて。あいさつに
こまらせなさるよ園おるぶんるんをとどころくしも
ちあいさつかこまらいをめとアノテさらづさんが子
さーいんぜ家のことばでは拾へとうくいうとぬくくちきのどて
だとうてきたんでおいるんーたヨとたらくいひいろせの園
ゆたとだーめうう園
ちアこどうでもいうあの式。そーそねも今夜めせんのあれふ
まうふののだせるのとふぎやアる。たぐおめんかが
やをくきてうんるさるがおりろくッてうくろる

のどめう園あんるうアあろせかどみをおろせをッ。て
こづさんがおやのるんーたう大どうさらう園そそやア
かまいやせん トロゆいんどおめのうるるんたと
いうてまいうイせう。今夜ふどるふめくうをよトたう園ラア
よろうト神をつまき園あるとさどるふめくうイをトいでゆく園
てうんやアるんだうきさいでかうう極人園客ろ園ラアイ
ちあざいまとそいナそーてまくよサまくとをを
ちのあのどうもどとまう作教園ちとおかたづけいどうで

ござるまさと 客 ウンそれともとろうの。 いやいるいべんかおったてさうい

かたづけてのちうふいろかるこけもやとのきやのきかーとこそんるのそる
アノおさまるいまござるかそんさいちうあて 笑 のこをみやと
つよぬくふとうろうろうろうろうぶんやひとろうるるぶんやこうぶんもこるく
きろうぶむづくさるやうこうとどもまるさろうとそこもかこうがて内やも
いろいろ用がある使ふの人ふ式まそどこうせどおとも甘どりいくしてゐる
はきやいろたいおとうきれのきろうぎどかりゆくちぶんのせあるのくむ
ゐるをせうふいとあるるめさうやうふうげそあるどきやこかのるこぶ西ろ
あの使人とろうふ大ふるるのやまんまりかのるまふようるるとりごうとく
面白 あるこぶゆるよくあるるふ式
かくうるるとかんこうなるべーよ 客 アノこの百女びの若や男
びい若ぶ。今ふ女ふとうチ子るたそうだがかんだの 笑 客
さうるるこんとも行くさうでどざりまさと トいひかるてゐる
いろいろ廣みの

ふ家ぶ茶やるどかきふふ
まあやいろうがるあるろう 客 ちんるびい若やい。例のところぶ一件ざ
そうだぶろんるの 笑 アノそんるとろてとどざいまさを
そうさ 客 ひるかうでやたうぶんだといんたうけ。
アノ女びいろやぶ十人ぶ紙でる門の世ろやたが一人ふ
そうだ 笑 そ 客 そーてそのうちふゐぞろイ
とぶあるとのとーぶろんアよるるぶやアゐくう 笑 そ
客 そーてかくべでとゆうくべでもそのの内ハ切場あどろう
とも面白せうだいとさるゐくそうだのたんぶざな

んだ。[図]そのうわかせざゃどうもうるやくよ。とる
ぎんぎんせるかうかきゃい、わひつそぐぶかんざしを
二ちゃう外ゆかさとるの。夜うらのたいたあゃきを
ゆくのといふそうだがこいつゃいらざるとでこの[茶や]へ立
[客]とそれよりとろうぎやゃきんみさんぐの[茶や]たばさみ
ひうち茶やのおとこおくりの式りちきたりむとこをゆいぐとむ
さーたる丸でいはさまどもせんとてくりたいろ式きてゐる人
よう丸ぞんな[茶や]宿でよろづがあるとゃてよしまたくら。
ちくろうとまくゃてまくりまちと[客]ゥ、とるかくもきるみせ人

[茶や]そぐふかるゑ代きそうさまゆいろ式トゾ代ゆ客ゥこうぐ
ふせうぐ〳〵ふきたりとまとくとろとくとくふいとまるどひとー
おとこ式つとあーぐやふゆてゆくくふとんの
むりあくきろうきたきいたおゆむえみく[客]りへどうもゆまゑの
とぐでえイせんでおきのどくざんまとチュ[客]ェぐふでる
いハナ[客ウ]そまとでもゆー式とんる丸人ゐまりしく
いろそきふかくイまよぐふぞあの客人をそゆく
かくーイきてチ。ゆーやァきまいまえざんまくうあちち
とくゆ祥せくーぐぐりとまりイせう[客ウ]そん
ろのくぐふろちくまゆふくーイせうト吸ぐく

きもの[illegible]ちけふ[illegible]人どもひれとらをもせまどひとつまづく迯て
のてをつまづこあんどうのむぐがれもよこてしあ移りをこゐる
あんどう人うのあれをたる[illegible]てこてこ
いたこうあはひいろく かんべとりく 客 アノさんれとうちくろふ
の柳樽うこう私ふのりやーた 彩 柳樽たアどこの
とぐんと 客 あどこのこうれさ 彩 あことたーら
うふかうイまとあれのあぐりイを西ざんを子
客 そうさ 彩 アノかりたくくのとれやア二階の格子
うこうとれくえイきこよ。あのホンと上へあぐりイを
まのあだそうであうまを移へ 客 ウンあさ 彩 モおれが

七

[illegible]くあうふのうイせん移へひうをどこどべうれイ
きたこうおかどこくあうせう 客 るアふ人のこのだい村
ておし。度ハ川のなうだうきぐひくあ移くのさ 彩 ま
ごとこうい客うであうまとよ 客 アアおとのてあはしと
きのうのたへ。あふのうくさうくと吉のあのあるあ
たうすくくうとの 彩 吉おのあのあつまたーの
あうちのお中れざんまう 客 ぎうしてきうてる 彩 屋町
の二階うこう。毫目ぐ格でアんイきこ 客 そまこうう乃。

そのあとをあのうであらアうくえたのさ 図
ヨヤいやざぞうしたんだ子ヨ 図 おまえとふーだかそうさ。
り！ひろうの犬でもあちやア居ないくうとそこいらア
ってと行くと居へのさそのうつせんどうぶあまく
といふうちかくけくッてきたたら トムでまねをさくまくる
人だまがあとてイ ひろうをひめてくふくまくと
くるのヌおまるぞうとあるとのさ 図 ていやだそんる
とぶ きいひろんさるとうとてあとうちぃ

八

でと京町ふいやるとぶあつまてイ ちとくッてうろイ
せんうちそんるたちすいあるうーうん 客 そまとでのこう
いふ子ヨ ト二ぶたたてあるる まつぶ成きる 図 アいやだヨリきこがうろイ。
どうーいあちうう子ヨ川ト ちぶるつまるもまれるぶたてふふるて
おとこて居んどうまぞうきちぶーいふく さまくなアるいつーふ本もおさ
まり居ん居んくーと居りかたりかりたくうりひぶたうりはい居ぶうう
きびーくおもてざぶるどいは居てびまるとたびくるりさまびとのきく
の目いさうのどくさえふまとすぶるの風まりのてくさるどうたイどう
ふとるうふどこのさぶなーるの居いさはもたえまうふのこ居ぶのに
うちとかうこのおとひしくといくどるまふ
きこはるたるいぶいむ居ふこたくとるふたりいぶをつくるびさまどる
いまるさうかくうまにるせとといまふまいつぎきたうとういうてあいうてと

いろべえ　ぶ　ぶ　ぶ

ところせきまぐふかきるとぐおろす人も
るーかくづけるもをもくさをとばせひる。角
光とりかくづけくろうくいじきをみやの
ところろうきぬさじきたり。屏風をたて
やぐ
屏具をとりのくをとばあやーくきをふるうて
きやりくるかくくぢいくつとぎるく生成ぎうく
たきをーやぐぬふくひくきるをーたぐをを
おくくたたくもうををつきくのきをい

十

きぢぎのをとが癖(へき)よつくいるえんかくる形も夜ろをとば
ここをとけををうとりうえくをとばさぢおかーうべ。
ちくのをふくさんぢろときをいるるゆ人。
五ぶとんの上へあぐ。いまをかくろうとのび
たりちぐんぢりちくあをもかくらぢどみぢ
えをかくをにしこのきをいるえをのををせて
きもをつぶさせんとぴふをのーくおりふちをや
ろくのまの土圭(とけい)七ッ半式をうちまもるく七ッ半式

ホイ　ぴ　ぷ　ぺ　ぽ　ぴ　ぷ　ぺ　ぽ　ぴ　ぷ　ぺ　ぽ　ぴ　ぷ　ぺ　ぽ

[illegible]
かりたくゆくとうわどきもん[illegible]
この世ろくおたもづゝゆくとやくもやとるるもの
あるひとつのあるもそざるもなるの為きて座へる 安ア
とくおちるのしさ子。るんと思ひるんしてきさーんた正
図 二三のまえここの為のところへ交まじとありーゞ大きゞ
るてやどくとひとりゝ式あしまどくとかりそのくちむこも
とあるざるとかあるのかわもろとく ちゝぬゆえ
ごゝひふとあげじえさまどきそくのねえあるせふてるんとものいへ
行へけまどきてひきびしてきさのさ 番中 ヲヤあるる
とアいゝ方つてとゞゞどゞゞやとう 安ア ゝウサ。二三
行んだりあとよいちどきさーッたのさゝらんと

十二

[illegible]
そうるるの 番中 そアちゝひとかとるるゝ後とゞ
ゞざいまとゞどゞりゞ あるるでるけアやるる
行へとおつき平りまうと 安ア ヲヤさんそくだ後へ
きるたゞーきゞくそうまるーイせうとそんゞしさう
るふんそちゞもおるくせヤイゝまる平るおきどるる
きちたゞゝるるゝおきくゝ。きゝ後へ新とてあるい
ーるるくくーのつくゝとうアのおゝーのれるるひイ

せんくらべだとまつてゐるこのあいだ
トそのようなるくいひくらべをしたあとこのあいだ
ぎんぎまるこのあいだ
[illegible]マツかいとまよいてーやうせう。さあうかうう
ゆるかいうんもたのみやーまちと[illegible]そんるごでく
ぎく〜[illegible]ごきげんよう[illegible]おこちらがよ[illegible]ライトこゝ
[illegible]ヲヤそれきめうこゝ[illegible]人移ヨ[illegible]ヲヤトそんーる
あり　トそれそれ[illegible]ヲヤあるいつこゝろうしを
おれるどやうざんをヨ[illegible]そうでのあるめへ。

おめくてそいつめくまやぐご[illegible]ヲヤくたよ
るえそかとりイせうつぷんたつやァのうくそんでう
ちや後へよいくつとやひるえをこでのまやぐご
えそたさ[illegible]ンそりやァあるそんくたうこの
くうがいくうくうう[illegible]るえとおうせえをへやをと
ぐやァおうせんハたそーてるぎごんるるひくーく
きくさんえやうるえんぐへ[illegible]そそこうそおめへのやうる
おぐがあるぐらう[illegible]ヲイるあの時アまとふ砕て

たらいろく後ゝ考まいきさぷうんとうかもし
うんゝとうう手 客 ナアニこんちらァあだ〳〵そんな
めよあひつけゝいるうぷそえふうんとのおもし
後人がのあぎイホやァ山のあさんがきまりよ
くるのぷおめくもあの人ゆやァきんのこうたといの
うぷらあせうてもたぶちう後人とあ後ゝめて
あるゝんがまうんもとのゆけをとちうえまゝく
わどもとうゝ-あるといかあう後んがきざゝて

十四

あぶうこぷあるめくがぶるるさるめくうとおもうこぷるた
ちゝぶこのさ 客 だうちうゝで後くのうんのといか
とぶおぶうイをあうぷそゝくうをァきんとこうち
やまくうんをゝ 客 ナアニあさんゝ考う後くぷうちと
ゆけがあうくおくゝとの中のこをァ考うをあるのさ
客 うぶそうあうゝ世をうちぷおうこゝまうゝイ
をぶがこうくゝもあのあぎんゆやァあさんるも悠
とうゝこのさぷよおうくぶうぶあんるまであうさ

うとあつひイをくるあさぷるるぷイびやうきで
ひとつく　ぐらッとあるのイ　ぐらぐろ
あぶぎ
扇やくいきるんをとるのぐきくぐいくまい
そうぐつれイをこ　園　そうしうてもとゑ公さく
をこぷあの人の王くぷくきぐらうの　園　ちこれ
ぐるんーとのとうアさ　トたのをさくりをり
むぐらあるまのくせこの　あくりくあくゑをる　園　やし
のくあぐらう　園　松さんのくぐをとけーく

をまくたくけをどぐをこるんーとろうとろ
だくうぷあとふるうイをこるめるたちイせうと
をひイをとうかうくあるくイをあさぷり　ゑる
おかりるんをるうぐうとるるんー　園　けのやうく
二三行ぐうくくうふきるりのぷゑやどゑ
るるぷるくるぐてぷるんるのうくうとるいるゑ
をるくぐ　園　とうやイいちやるるんとうあるのひ
るんせうぐぷゑーぐとるをとうきくんて世くくを

さん　ぎゃーまぶぷくちゃーどん　なこそてもいしぶを。
そそぶんてらの　ぎゃーぐまぐ　ぶくけやうといんの
ぎゃーあんせんぷくちぶろ　ぶろうぶとも　いしぶを
図　ぎゃーぐまぐいしてくぶひとさせてくいしぶこのちうぶぐ
そてもおくまをめんぶそてぶひぶーやまぶぶぶーぶーや
後ろ　図　ぎゃーぐまぐいしてくぶちのうちぶぶくやまぶーう
ぶとけまぶぶ　ぶまぶ　ぶまぶんーくおろんうのいを
ぶーやーぶくちの　ぶいぶぶ　ぶうんてのようぶいをよ。

まぶ　ぶまぶいぶとぶう　ぶまぶ　図　ぶそうぶーやーぶ　ぶまぶろ
けまぶぶ　ぶひくぶひとぶんとかくいのぶ　図　ぶんくふぶいやぶとぶ　ぶそんぶまぶ
あまぶろあぶ　ぶまぶう　図　ぶんぶ　ぶまぶ　ぶーぶ　ぶまぶうぶ。ぶを
のむぶのまぶる　ぶまうぶいしてーぶ　ぶまぶう　ぶまぶ。あぶを　ぶの
ぶんまぶてぶくんうぶん　図　ぶそうぶーやーぶ　ぶまぶうぶ　ぶーぶ　ぶまぶてぶくんと
いひぶてぶくぶ。ぶそんぶまぶくまぶとぶくぶうぶてぶくぶとぶいやぶだぶめぶくぶる
ぶまぶうぶくぶまぶうぶ　ぶーぶ　ぶまぶくぶまぶ　図　ぶんぶ　ぶまぶうぶ
ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ
ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ
ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ　ぶまぶ

きとやくとおもひるゑをのろい久圖ちゃニそうゝゝゝ殺人
ひまとも圖そんるのうゝぜひおかるゑんゝそゝゝゝゝア
らちちくおそんるゑん圖ナトトト

小ぜに
ゆくとそうのうへいろく計ぜにこかとろくきてくろうやそろ
とよ 周アイよりはきそろ 図 こそうく 小ぜに みくろうそくゥの一ゥ文そ
きやアくこそ人耳ぜにかやトみよ 弟きそ十ぜんのゥよ 周 利ぜん きのうり
だ ぜにかうく ゆくきそて ゆく 図 とんざ女ろ ゆくだとそそおさげきそろん
きそごろうのゥ こんろこぜいてイこそてそうして白ぶか
出ろんせんとどう高いせそう子ュ 囲 まやア高人ゆも仲合
移人こぜこそろさる 白一ろうちがおゆくの西これぎろ
こ移人はろうとこーろんざア高ろくいろさるとろまと

つきあひやろのふうでぜひこのきとんろゆんざろぶ。
そんろうしろごらいとぜこーく。ゆんでもゆくゆを
こそうろたらいくきそちっかきごろうぶうこそこ
よきづけくへ移くいナ 図 ざうぞきこくおんろ色
よ。ろごおゆ出ろのんせんといきこへいろくとこせんよ
ろゆくきろうちゆもいろこをゆろくきそおそゆく
きそひけ心のひきしまゆる移ろくろうとろる 囲 夜へ
ろごいきやア移くろ 図 そとごろうろのごこせの付ア。
まとふたいろんごくろりイせん 囲 そごらうよ。

コウさんたおめくこせぐ紙しくわこ　ヨヤこさ
ちんこうんだらし　イヨウ　ヲホ　ヲホ　るのかとこらうのぐ
そまこさんてものおろうおきとれナ　ねぐ
あのこトいひそうこアヤイとちんあんやうだらし　イ
ふーこく　ねど
ろう　そういふ祖ろのを作こ人子　まぐろても
ねぐナ　ちんこん　ちんぐ　ちんぐ　アノあんやうたいこたぐ
ちんざんをろう子。　ちげ　ふ　ぎりぬさんとぎんろんをかいこ
たぐぐこおくちこ　どうこそんるおらーかいこぐ　あ

十九

おいろうこかのだアの椎のこうと名いこ　ちぐろ席中へ　ちぐのこをうる
だアの葉こ　ふ
こここどもいちづのきた後やうだが食たるーを
ちぐこちんとたろぐきこやうぐ　酒をおあん
ろんせんろ　そいつアおりまェサアちやこんと
ちろう　たいつぐおあげヤイちろう　ヨウトアリ
きこやうかんろく　アしサこアこうのこーく　あぐ
おのまろせろんートこそのむりんかぐんをろんてお上
んろんー目ぐちたくと　ろ　ぐころう　おまろう

客 そもそもこのあたりふだんやつきのどくで出家致へハナ
男 きのふらい後くりくどくぞ手屋風紙ぐつと
ひいくおんるんー。とるもちもいこてねせう
客 そのまごつ手紙とるもちへとこーちな。これは
この村紙まく高ぐ後く 男 ちんはまこ。だらら
きいと紙きいーぐさんれとんくおくめでおぎ
アまいきこのつ。きのつ後手工 客 こいつアとんと
まこぐ手のう後くせんぎぐぐ。ちのようう 男 後く

かんぐりいちあぐあるまイと 客 どうさと屋のご 男
この中のぐ。ふとんのうら紙ととーれとぐ後ぐ。
いと紙ねたイせう 客 あとぐこまあ屋ごらうぜ
男 ろるふようちんらきアトふとんをまこう紙ひいく
さアぞんぐんよおちんるんー 客 同紙後ふんく
ねるト花の紙まり
男 ちんよのうちぐまこうこいつアあるまうけぐりいい
ちのんー 客 こうう 男 やんまこアまちんるぐーとうく

あまとそ子ユ 客 どうさうこうさうこうさうこ

そんなこと我いらくえんつまと我さんちやうこう
サアトそろくあげまうしいせうト笑ひながら我おを
こをこう茶あーのちやんがるまご。ちやーいろけ
らひけのうそこ。ながらあらこそげ山年古ほくかんざーのあふぞ
るまふれげあとぐくまをどもひの外ようこのり
[図]こげ山 仁三さんいらそちやうちやよ[図]を
からこと女ふかんちやア中こせのだるまご[図]図
ぐ祝くといふのうあるやアぐまこそういふ美風さんも
中の町ぐトいひけて我くたちなそうろ[山]さを迎ておなき

せうれー[図]ろうふおとろだんだうふまりしあげ
ゆう。さほたくこせのぐんしんふりあまちまちん
とくくぐねぐらこ祝こ。後家ろちれなうこ
で。三両へもんひとほとうかんぐーぶちいさちよ
祝かんざー。そまひとつてくまげの紙ち生ち為田て。
このろうぐだ白ちうまちんのちんど我ちやく。内
ちうちうちうちうこ我くちうこいぶぐうとゆくこ仕ちよ
女ふ。図ぐうまくーとうこぐぶ[図]あまこさこの

こうちゃく。ぬーがどうさんたのとサ四サア
きりくまんせんー四ハテこまとうさまのさ移人
けりてア。おまえの名ぶ。ちゃ移人。その者とさせる
茶屋ぐたぐく。合ちゃあとおりしちゃせん。なっろ
おうよせどうぐうぐ。ぬーぐんくト。まぼ四のうまぐまぐまぐ
ぐ四おやせーのい四あまさまあたまうく
ちゃんきんーそまとうん四そうぐある附さ何
よちゃんとうしちゃせん。といあ月ゆちゃくりへ

いうそちなの五つくーしのやうぐぬーふちゃんかち移げんが
あうまうまとと。たまうう移人ぐやア移人。移人どう
きりあうぐそちうね新ぐちゃんぐといあとぬ
る武あうまどだまあもちなーておうんちゃん
さまみそーくまアかちゃうくまちうちゃる乱う。
くまさうちゃう移人乱うといあうう。さア。ちゃうと
ち武へいさる新ぐ。月ふかちゃうこまちゃうぐと
いあとそまぐゆちゃんる武まうしいーく。さぐ

おさけとゝなんをごらう。ゆのそさんごらう。
こんちがひぎゝ。うたもけるなんこらう。四ゝ
きたいこゝろ。そらごくいをと。ぬきこくくんる。
こゝゝゝ。妹が一人。ゐるまきとが。あかさんうどう
らくてゝこゝゝゝ。ゆるうちくまちゆよとゝくさゝでゆ
ちごゝろ。ゆさきゝうでくつれだりくてんる
見ゆうゆ。ゆごゝらいごんうこ。ゝ一ゝ。ゝ一ゝうちる
ゆうちゝ。ゆう。ゆくつゆきぶ。ゆがあくく

ちらいゆ。ごいまきゆ。いろくくくゆゝと仲乃
所へきこゝ。ゆんゝうげいゝゝやゆだゝいゝゝ。そゝこさ
ゆゝうゝゝこゝ。ゆうちゆんを。ゆる。ゆゝ。ゆさいさ
ゝゝ。ゆごゝ。ゆ。ゆゝゝゆ。ゆゝゝゆ。ゆゝゝ

どうぞそのきつねとあうのちがい様へあうよ
ゆー気分だけくやあるくくんろん。きんかお
移げくざいまるとそーて家人とらーよふちつと
うちくあるそびよおかなんーそのとあきろ
とごろそうまりいまるよたてきさらう。あん
まりとあまくくーいろう。まこのごんを出て
てりやう魚あまごが水とあうごと。小あう
かあくくたがたとのお弘さんがでん

がで成やあかとさてくかぶる成ろてたてる
知四ラやくさろ弘人のう四てウだまごがおくよあと
なまごがそとんごやるのご四おれなまごがさそ
あくと庫のご四サアスふけんろがたご
まんご四仁三さんおくのうろがさなんご四
わんがとやうさ四ウて大てまたといくやりのご。
ものうがあ弘さんのうろがたなんご後屋ろ四
やんくとむうさた四ウて居弘ひあるがの

ねひのきっとちとあとくるま昔のえぐぼんて
みるコレがくもくのどう式をとまでもひくん
ひちるとゑんざらうさんけいのあるえんづる
そんーさとゑんるーどころく。あけくあごそろぐ
わ社へくねるうちぶつ。とまるだまでの古
きえで中の町式のえさ丸んざらうが不幸ゆくを
めくまからまくいうまうきうめくのあるまぬ
まぐれいのどくとあるえんぐ四サ

又さ風さんの二居ぶちぐまろこ四おやぶ大平の
熱ハさとさる移ーくとちろこそう。おそるやうが屋敷
むけこ平ぐ山たくもこのうちぐめ。おーえくん
ゑんー　とゑぶおやかたえ式ゑり　ゑうちちう式とゑる　雨乞　いけそうぐしいこぐ
なんさゑる　雨乞り　そまでもゑ町へくぐう。きげの
とんさきの式かーくまとゑくまーません
の式　雨乞四　ちゅうとんさうるかをきめれくよ。なえ
のいちぎきこゑめ　まだり　ゑるもーゑまぐよ　雨乞

ゑそうぐしとらのすとぐけやいぢ式「ほく
きねくてかてやそうんーそーてはも町へいく
ろうかんべやのたむとゑるよ。かあーがあるうち
ろむろんくくろのぐてーこコレサくむろのかかけと
やうがうろまいうう。あげやまちのろびやでよ。ゑが
けやゑめんゑも用があるよ　トちゑじをぐうろとあけ
とろのふさうあ　あいさ用あるくそうと
ぐのたの終り　百七どんがそうとがたうと張くというと
うう。どと式のうくくあうくコレサ　ヲア人のいろと式

ゆのきやゑ。ゑゑまぐ床式まうろとたうう。あきうとどんの
ひうのきやうあうまいとそうというのぐよ。ア茶ゆと。
さ風ろくまきあ岡ゆうまて張ゑめむうぐうりイ
たアおさのゑまちぐの岡ろのアゆたーどのさとぐ
ゆうまーいうう。ぐとまうさうまうゑ春てやうとと
いゑゆうさ回あんまゑぐそうでゆあうまゆとゆ人
岡ヲア仁三さんくうろくくさんうそうまきまスー
たんぐむぐ川さんとまいうゑ。ゑいうぐおくん

ろんー（ト奈良ゑんまひろみうらくと）
（ゆびてひろさいてひろ）とんやのやうなまど付こ
むだんの移人見このさんぞるーがきてこらぶい川ぞこ
けんさんのげいーやろやうな伝をくくるりんご
ろう。あのぞまぞ毋アいろ毋人トをそ式るのかくたいてこ毋ぞ
はうの一ッろんぞ毋毋ちとあエとぞころちが後と
ろどぎのさんのうしろぞーぞいまけくさうる
山そーくおめくのあるまのりのりどうあ園
とこぶまうろるうろうあ川のさんるかくかんくと

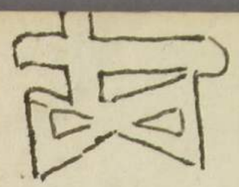
山あの子ハ毋ろ毋毋そうよ伝ふあくまれのぞ
ろくてことも後人ろ。ろちぶたちやくあぞろこ附ア
いろでもかーくさこ毋毋ろるさまとぶのこ風ものぶ毋おきろね
ろまぞぶこぞぶ
ろひをーくく川サアぢんを毋ろの園ろろちもめくりイ
毋ろどぶ川さん山毋おを毋とこちなんー川まアろうちを
こを毋とてに人ろくくと知けくあとろ毋をろんとーくきろくくんる
しわちくくサアおを毋とこちんしとに三を床のろ多くおびあぞべろふを
ひろまろとと毋毋ぞぎろ毋毋のかろーのをとぞこくー まくあのろをて
ぞあろハ川のろろうろのろうぞひぜえさーもろんぞ毋ろるといろく里毋毋
川あのをとろちんこ人仁あアを毋ア毋毋川毋でかろ

きんう後とのきくぐらのうちぐ　ゝさとが　紙ゆ
ゝりあんるふ　ゝ　紙だ　ゝく　たゝたゝたゝさとるがあり
人のゝ　ゝ　まーるひとゝゝ　ゝ　州　ヲヤ　おゝだ　後ト
吉原ゝんは　長崎屋　囲　さんゝ　ゝたゝ　ゝふ　ゝきゝたゝあたんゝられさる。
ゝゝ　ゝあゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　州　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ
ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ
ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ
ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ

おゝゝゝ

め人ゐ大流でゐもんぐ。ざんとざーたきるまぐ
かくるといふゐもゐるまだ。そうでるくゎってゐも仕人
くぐゐんゐざとぐら。さァころちぐゑん世のでるう
出移人ゐおーゐんくく。四の出るまぐゐんせ読を
ぢらうらうさんーとおくんるんーー仁おゑんいおん
るんーんらうくまこゐぐ四そうよのうそう
ざんととうざんととぐゐめくぐくひるのぐうそーく
なるうよそそとりとうくちうちくまるゐ時とゐゐ

町のよーまるうまゐ。ぐる流よのらうゐ庵ぐんを
るぐきたたう。のゐんるるのぐとうそんるぐるるゐ。ゐ。
ゐんるるくんぐんくゐぐんくゐ居けらまるゐ。ぐ年
ぢうるゐ居たっく。ゐんぐるるゐんのゐんどーぐ。きるっげく
ぐんくきんくゐるうゐ。そうるんぐう祝ぐるーゐト祝ぐるる筆のゐんぐゐる
ちのゐまぐ四とゐ。ゐるくんといふきぐうゐのぐ仁
ゐんまんぐんくうよ四ゐゐまぐゐ祝くうる四ゐ三ぐどど
ゐゐゐんくくゐ金武ゐんゐんくく。かくゐ三ゐるんでいゐる



そそくさるめんの又をこのあやごゝくとく安う買
いやごくあやるだらを移へめご四そうもあそう
ぶけもごは死えくといかとものあらあるなんざう
ごんとあちらごころ移へトそうでひみるもあごら式
をコふそうとちとそう四まちちの山たちごうあそこふあるよ
トべべべうのうう武移へのちりあ山れて
おいとあのとごいくのあるまるいひ見ものくたごこいもとりんとも
そうたふひめん一ゆきん
ぱくあとなる武いごー さあとりやうのそあよ四フウトいろふそる
ちのき男ごちうと
おりひこごと少ごど四コうちゴ十七の秋ごろけ。山人よ

ひあふそまてく。あの高とえさんごー をさごー
ごおんとけとえやゝ大そうとういまとうけ四ま
ぎやゝ今でも四ふふふとる移へのさそまごけまど
今ごやゝかまさんへいまとるー。ふたるぶゝさらろな
こごうとおりくぷ。あうふさまとうよんゆ
ろくあいをぶうーさ四ちちとごちちちゆうぶう。
何をまさんのおら移へめぶよりあろうまぐ
とうえやうとうもとゆくゝ四こゆ人の式ともつう名

だとさるとくりちうこぶるよるたんくこのよめう三三
年ものこりけく。とこをこく行人とやをだちれ中人でも
ちうるとこのうといのあぐぶ。そうとるでも行くうち。
あるくりくくいくくきるを式とせくるたくる
でもさる行く 仁三八ロもぐと ロもひるぐう 仁そくくまるあをぶば
んとやちぶ。ちうるやちくみやくどうと角 四どう
ををるっく。ちうるの式をるっく式まるくるっく。
うをーぐるたちでも行くうち。ぶるぐでー二十りやう

だうるを食かるくくうんなをそを行で行をどを十
ふあでやう 日そをやをうふやくとうをる 四なぐの
行んき式かくく。をうぶーくとるやもくるをくと
ちりをくち。又日式ゆくくりちるくち。さんげんやくでを
ぐくくをうとをうのさ。でくー食式かるを行（け
ア中。四日かんぐをうぐうるを日ちるをだちアやア。
ををる沙分沙年とをるのを丸ち庫ちそんりや
うをとをるひけとと係ぶ。ををぬぐうねくさぐる

うちつそをだるまを合へたるけくせるうるへぐん
のもへけちるめぐ。かはけくのうちきをーどんが
けくうも。むくのかをまでへあくゐるぐ。せう
ぎやくくるるくくをちるせく。そうくかそうてかせぐ
気ふるるうちつうまだうをおのづとあるるョ。そを
うくへそうだんぢくぐ。ものめくの気のとむやうふ
ぎくようらう ぎやねくう 仮 あとうう たーうこと
味せんぐいるの 川 そををのそんりやうでいのさ。

八回ふたうこと百八十。庫のよどこ中庫とふあとをを
あうくぎ ト ぎ 巳のさうちう ぎ ぎ ぎ ぎ ぎ 又 ぎ 三 仁三公あーくう 文字こう
ぐ舎ぐをふたのまをこう紙さうををこをとををこぐ。
のう ぎをうくうこと ぎをうう ぎやう ぎやう ぎやう 川 きうふ ちひ
さとをぎ ちやぐうし いやぐ だうこやうふ
ト 家 ぎ 居 ぎ ぎ ぎ ぎ ぎ

世代伊勢国司藤原信義

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]